令和８年度

学校経営方針

【夢と希望をもち一人一人が生きる力を伸ばしていける学校】

１　教育理念

「子供一人一人の潜在的な可能性を最大限に引き出し、将来の夢と希望を実現できるようにするために、自分の未来を力強く切り開いていく力を育む」

この学校本来のミッションに基づき、旗川小学校は以下の【教育目標】と【目指す児童像】を掲げ、その実現を図っていきます。

２　教育目標

人間尊重の教育を基盤に、心豊かで、自ら学び、
たくましく生きる児童の育成を図る。
仲よく高め合う子　　進んで学ぶ子　　元気でがんばる子

３　目指す児童像

〇仲よく高め合う子 ― なりたい自分を語れる子供
〇進んで学ぶ子 ― 自らに価値を感じる子供
〇元気でがんばる子 ― 自分以外の人に思いを巡らす子供

私たちは何より、子供一人一人の将来の夢や希望を大切にします。「大人になったら昆虫博士になりたい」「いつか恵まれない国の人の役に立ちたい」といった強い目的意識があるからこそ、子供はそのために必要な学力、体力、道徳性、社会性などをしっかり習得しようとするようになるのです。主体的に学ぶようになると、壁に当たっても諦めずに努力し続けられるようになり、乗り越えていけるようになります。その結果、各自の自己有用感も高まっていきます。現代の日本の子供たちにとって最も大切なこととされているものです。

さらに、自分に自信をもち、心に余裕が出てくると、その分だけ他人への心配りができるようになります。これが将来にわたって必要とされる人間関係形成能力の礎となるのです。

４　目指す学校像　～子供・保護者・地域・同僚から信頼される学校～

〇子供が喜んで登校したくなる学校
・子供が学校生活に充実感をもち、学校に来るのが楽しいと感じる学校
〇保護者が安心して登校させたくなる学校
・安心・安全で、清潔感にあふれ、潤いと落ち着きのある学校
〇教職員が生き生きと働きたくなる学校
・教職員がもち味を生かしながら磨き合い、仕事に充実感がもてる学校
〇地域が進んで応援したくなる学校（地域の誇りである学校）
・家庭や地域と心豊かに連携し、地域に根ざし、信頼される開かれた学校

５　目指す教職員像

〇温かい心と厳正な態度で、一人一人の子供と真剣に向き合う教職員
〇子供の事実に依拠し、**分かる・できる・楽しい授業**を目指して、常に授業改善に努める教職員
〇本校職員としての自覚と責任をもち、学校を愛し、チームとして協力し合う教職員
〇子供と向き合う時間を確保し、ワークライフバランスの実現に努める教職員

６　学校経営の方針

(1)開校・閉校を視野に入れ【ＴＥＡＭ　ＨＡＴＡＧＡＷＡ】として

ア　学校（教職員）・保護者・地域がワンチームとなり豊かな自然・受け継がれてきた文化等の人的・物的な地域資源と専門性を生かして、子供の夢や希望の実現のために協働することで、故郷への愛着の気持ちを育み、自分に誇りと自信がもてるようにする。
　そして、開校・閉校に向けて、今現在の児童を大切にしながらも、先を見据え、次に「繋げていく」視点をもって指導していく。

イ　保護者、地域の人との協働のために、学校（教室）の考えや様子を伝え、理解していただくとともに、一方通行（ＯＮＥ　ＷＡＹ）の伝達に終わることなく、双方向（ＴＷＯ　ＷＡＹ）の意見のやりとりとなるように情報発信の方法を工夫する。
①学校ＷＥＢサイト
学校の様子（行事等）を毎日発信⇒担当・担任を中心に
②校長室だより
月１回のペースで
③学年だより
月１回以上、行事の紹介で終わるのではなく、授業内容、子供の学習の成果、表現した事物紹介、担任の考え等を発信する。
④学習、児童指導、人権、図書室、保健、旗川小　各たより
前年踏襲ではなく、「チーム旗川」をより強固にするための情報発信を意図的、計画的に行う。

(2)【新学習指導要領の着実な実施】への対応

着実な実施のため、不易を徹底し、最新・最先端の教育内容・方法に取り組む。
〔不易〕①子供の学力向上＝教師の授業力向上の認識のもと、「分かる・できる・楽しい授業」に向けた不断のたゆまない授業研究をするという意識を全教員がもち、授業改善ＰＤＣＡサイクルのＣ（チェック）では、子供の事実を評価の基準とし、準備した教材、提示方法、順序、指示・発問の吟味、教態等、常に自己に向けた改善点を模索する。
②プログラミング的思考を育む教育に取り組むとともに、一人一台端末などのＩＣＴ環境をフルに活用した授業デザインを構築し、個別最適化した学びによって、子供の思考力・判断力・表現力を育成する。
③ＥＳＤ（持続可能な環境社会）への理解と取組に向けて
ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の視点を踏まえた環境教育を実施する。
＜持続可能な社会づくりの構成概念＞
１多様性　（いろいろある）
２相互性　（関わりあっている）
３有限性　（限りがある）
４公平性　（一人一人大切に）
５連携性　（力合わせて）
６責任制　（責任を持って）

(3)【読書活動】の推進

ア　佐野市こども読書活動推進の手引き（Ｒ８.3）に基づき、学校としての数値目標を設定し、読書の習慣化を図るあらゆる手立てを講じる。
イ　新聞の活用を図り、ＮＩＥに取り組む。

(4)【スリム化】

ア　学校内外の諸活動を整理し、シンプルで効率的・効果的な学校運営によって教職員の働き方改革を進める。
イ　勤務時間内に業務を完了できるように、計画的に職務を遂行する。（時間外勤務が週あたりＩ０時間を超えない。）

７　行動の指針

(1)【ＡＫＢ】教職員が範を示す。子供の生活指導の指針としても適用

〇時を守り　**Act on time**　相手を敬う基本　定刻開始、定刻終了
〇場を清め　**Keep clean**　職員が手本　スッキリ、フラット、黙働
〇礼を正す　**Be polite**　心を開く第一歩　明るく元気なあいさつ、立腰

(2)【あんぜん】安全は全てに優先する。

ア　「自分の命は自分で守る」を体得させるために、自分の命、友達の命に関わる行動には毅然と対応する。
イ　安全の視点で校舎内外の施設設備を日常的に点検し、瑕疵については即報告、即対応する。
ウ　朝は子供の登校前に、教室を確認し、退勤前に教室を最終確認する。

(3)【あんしん】明るく温かい指導をする。

ア　教室はまちがえるところ・みんなちがってみんないい。
イ　子供一人一人の教育的ニーズに真剣に向き合う。
ウ　授業の*ＵＤ化を図る。　　*ユニバーサルデザイン